



三小だより

9月号 令和5年 8月31日発行
横浜市立港南台第三小学校 学校だより
電話 833-0251
FAX 833-9204

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kohandai3/>

「防災の日」に

校長 岡部 一郎

いよいよ9月です。夏休みが終わり、前期まとめの時期となりました。今月は、これまでの学習や学校生活を振り返りながら過ごしていきたいと思います。また、今年の夏は、熱中症警戒アラートが何度も発令され、例年にはない猛暑になりました。9月とは言え、まだ暑さは続くと思います。熱中症指数が高い場合（危険などを示す）については、うち遊び（休み時間を校舎内で過ごすこと）にするなど、校庭での活動を控えるようにします。また、水分補給や日々の健康観察をしっかりと行うとともに、生活リズムを整えることの大切さを伝えていきます。ご家庭でも睡眠や食事など子ども達の体調管理に気をつけていただければ幸いです。

さて、9月1日は、「防災の日」です。自治体など様々なところで、防災訓練が行われています。本校でも「総合防災訓練」を行っています。この訓練をきっかけに、一人ひとりの防災意識を高めていければと思っています。この「防災の日」は、1923年9月1日に発生した「関東大震災」を踏まえて、1960年に制定されたものです。私も小学生の時に、9月1日を中心に、学校で避難訓練が行われていたことを思い出します。「防災の日」の目的は、地震対策だけではないのですが、その時には、大きな地震への備えや対策といったことが、とても印象に残っています。その後「東日本大震災」など大きな災害を、私たちは経験していますが、現在では、地震だけではなく大雨による洪水、暴風（竜巻など）、そして猛暑など以前よりも、多くの備えや対策が必要になってきたのではないのでしょうか。特に、今年は大雨による河川の氾濫や予測できない台風の動きなどがある一方で、水不足により米などの農産物にも影響が出ているところもあります。

このような状況の中、子ども達には「総合防災訓練」とともに、毎月行っている「避難訓練」で、命を守る方法を繰り返し伝えていきます。そして、地震や火災時への対応だけでなく「目の前が見えなくなるほどの大雨」や「防球ネットが倒れるほどの暴風」、「近隣の河川の氾濫」、「崖崩れ」など、多くのことを想定し安全確保を図る必要もあると思っています。学区の中でも、場所によって、懸念されることが違うため、保護者の皆様や地域の方々の情報を大切にして、子ども達の安全をしっかりと保てるようにしていきます。

そして、もう一つの大切なことは、大きな自然災害がどうして起きているのか、を考えることです。想定外の大雨が降ることや台風の勢力がなかなか衰えないことは、「地球温暖化」が影響していると言われていきます。7月には、国連の事務総長も「地球沸騰化の時代」と警告しており、私たちはこの問題と向き合っていかなければなりません。SDGsの考え方が浸透するとともに、子ども達も環境問題に関して高い意識をもっているのではないのでしょうか。では、「具体的にどんな取組をしていますか。」と問われると、私は、少し悩んでしまいますが、あるスポーツクラブでは、試合をするにあたって使用する電気の全てを、再生可能エネルギーによる発電でまかなうという取組を行っているとのことでした。これは組織で行っていることではありますが、私たち一人ひとりも工夫すれば何かできることがあるかもしれません。子ども達や保護者の皆様、地域の方々とパートナーシップで考えていければ幸いです。

「防災の日」をきっかけに、災害に対して身を守ることや安全について確認し、地球環境の問題にも意識を広げていくことはとても大切なことですが、「防災の日」に限らず、常日頃からこれらについて、学校、家庭、地域で子ども達とともに考えていくことが必要になると考えています。